

「地域が求める農産物」をテーマにセミナーを開催

水稲からの転換等で具体的な導入品目を考えている生産者に対し、流通関係者からの話や生産者の導入事例を発信し検討のきっかけとなるよう、セミナーを開催。

○ 施策分類

米政策、野菜

○ きっかけ・背景、課題の把握

高収益作物の導入推進の取組の中で、現場の生産者からは何の野菜の生産に取り組みばよいか、売り先は確保できるのかという懸念が多く聞かれていた。一方、本局と連携して行った実需者側との意見交換では、自県産野菜等へのニーズがあるとの情報があつた。そこで、水稲からの転換を考えている生産者等に、既実践している生産者や実需者の話を直接届け、高収益作物への転換を後押しすることとした。

○ 取組の内容

「地域が求める農産物」をテーマに、会場参加とオンライン併用でセミナーを開催。

セミナーでは、まず卸売業者が「流通業が勧める新規生産野菜」と題し、具体的な野菜のニーズについて講演を行った。その後、県内の野菜生産者による取組事例のを発表を行い、発表者とセミナー参加者との意見交換を実施。

○ 効果・成果、今後の方向性

参加者から、「流通業者の実際の話が聞けて良かった」など有意義であったとの感想があつた。

高収益作物導入推進として、生産者や実需者等との意見交換などを進めながら、事例の発信等に取り組む。



現地会場での様子

体制図



セミナー

①卸売業者からの講演

②野菜生産に取り組む生産者から事例発表